

# 2月の出来事

平成 24 年 3 月発行

第 59 号その 1

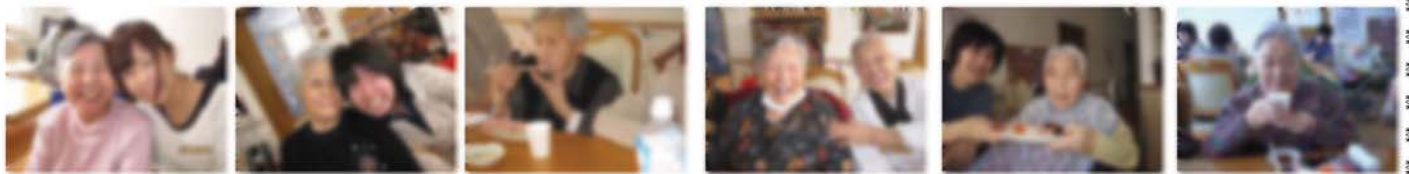
## お寿司の会



お酢の匂いも漂い入居者様も食欲がそそられますが、良い雰囲気の中しばしの間お預けです。



この時期入居者様は、食べる楽しみが一番のようです。みなさん沢山召し上がっておいりました。



23日 板前さんをお呼んでお寿司を握っていただきました。最初のお皿に6貫お出しして、あとはお好みでカウンターに行って好きなネタを握っていただいています。みなさんビールなども程よく飲みながら、ウニ、イクラ、カニ、マグロなど好きなネタをお腹いっぱい召し上がっていました。「こんなにはお腹ふくれてきたよ、これ以上大きくなったらどうしよう！」とニコニコしながら満足げな表情をされていました。花では、生ものはごく限られた時しかお出ししていないので、お寿司はみなさんと喜んでくれます。また普段刻み食の方は、ネタを細かく切り、生ちらしにして食べていただきましたが、周りの方々の美味しそうに食べる姿に「握りを食べてみたい！」とたつての要望をされる入居者様もありました。食欲は良い表情を誘います。また何かおいしいものをご用意したいと思います。

## 高校生からのプレゼント



24日藤高の一年生から、今年度の花での活動写真などを貼ったプレゼントを頂きました。その後リビングや廊下に啓示していると、模造紙に書いてある互いの思い出のメッセージに去年を振り返り「いい子たちだったね！」とお話しされていました。

## ボランティア



24日 今年卒業する藤高の生徒さんが一名15日間のボランティアに来てくれました。藤高との交流を初めて早いもので3年の月日が経ちましたが、最初の迎えた生徒のお一人です。この春から志のもと福祉の大学に進むとのことですが、彼女の未来が、大きく花開くことを入居者様と一緒に期待しているとことです。

# 節分の豆まき

平成 24 年 3 月発行

第 59 号その 2



2月3日 豆まきを行いました。これまで「もつたない」との意見が多く豆をまかずにいたのですが、今年は「やはりまきたい」との希望が出てきましたので、「鬼は～外、福は～内」と威勢よく豆をまいています。まだエネルギーが余っていたので、お手玉的当てゲームと玉入れを行い、日頃のうっぷんも発散していただいています。



花にいる鬼のお話し  
花に鬼嫁花子と鬼婿太郎という名の鬼が2匹住み着いております。これがまた見かけによらずいいやつらで、毎日歌を歌ったりしながら入居者様を喜ばせておりました。また、いつも入居者様に主役を譲り、準主役に徹しておりましたが、昨年主役を狙いNHKのど自慢でメジャーデビューを企てて失敗しております。しかしこの節分ばかりは、ずいぶん目立って入居者様の主役の座を取ろうと暴れたので、入居者様が豆をぶつけこらしめております。行き場を失った鬼たちは、社長に「どうか入居者様の為に一生懸命働くのでおいてください」と頼んで、なんとか今まで通り花に居ることとなったそうです。めでたしめでたし・・・



その他にも塗り絵をしたりちらし寿司を食べたりしながら節分を楽しみました。